

新宮木協コミュニケーション誌

No.131 8/1

2013年(平成25年)

(昭和37年12月10日創刊)

発行/新宮木材協同組合 総務委員会
〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号

TEL. 0735-22-6105(代)

FAX. 0735-22-6107



新宮

木協だより

URL:<http://www.shingumokkyo.com> e-mail:s-mokkyo@shingumokkyo.com



新宮市立 王子ヶ浜小学校

王子小学校と蓬萊小学校が統合して新しく王子ヶ浜小学校が開校しました。

校舎内部には『熊野材』がふんだんに利用されており、さわやかな木の香りが校舎いっぱい漂っております。

ホームページ随時更新中

新宮木材協同組合

検索



新宮木材協同組合
第六四回通常総会

平成二五年五月二十九日
(水)、第六四回通常総会

を市内の割烹かわらで開催 (組合員三十名の内、本人出席二一名、代理人出席四名、委任状出席二名、合計二七名) し、議案審議では提出議案は全て原案の通り承認可決され、総会終了後、懇親会を開き、組合員の親睦を深めました。



理事長挨拶



懇親会風景



総会風景

和歌山木材協同組合
との意見交換会

平成二五年二月二三日

(土) 午後四時三〇分より和歌山木材協同組合の宮本理事長を始め組合関係者十一名をお迎えし、新宮木材協同組合役員との意見交換会を行ないました。冒頭植松理事長、宮本理事長より夫々挨拶を行ない引続き専務より新宮木協の概要について説明し、次にフリートークの時間となり林業の若手育成問題、プレカットによる紀州材需要拡大等業界の生き残りをかけた真剣な討論がなされ当初予定の終了時間を大きく延長しての意見交換会となりました。終了後は場

所を変え改めて親交を深めました。



木材乾燥講演会

平成二五年六月六日

(木)、午後五時三〇分より標記講演会を木材会館二階大会議室にて開催しました。植松理事長、中尾場長挨拶の後、森川研究員より「木材乾燥の基礎知識」として、木材と水分・収縮、割れ・高温セット処

理と天然乾燥等・林業試験場での取組について夫々説明が行なわれました。特に高温セット+天乾を用いたいいわゆる「大分方式乾燥」についてビニールハウスを用いた乾燥結果について、含水率や、加工性、コスト試算等詳細な試験結果が述べられました。

森川研究員の講演後質疑応答に入り、参加者からはビニールハウスの容積と乾燥具合、耐用年数、乾燥の割れや反り等々様々な質問がなされた。最後に板谷理事より堤防上貯木場に据えられた、ビニールハウス乾燥施設における独自の試験結果を述べ、盛況の内に講演会は終了致しました。

「追悼」

—瀬古潔大先輩を偲ぶ—

山中 清澄

瀬古潔大先輩が病臥されたと聞かされ案じておりましたところ突然の訃報に接し、驚きとむなしさでこの悲しみを表す言葉がありません。故人はおそらく難病を克服し、皆様を驚かせお礼を言いたくて病魔とのつらい葛藤の日々であったのではないのでしょうか。その願いも空しく、



去る三月十二日現(うつ)し世の悲しき定めか九五才の生涯を閉じたのでございます。誠に痛恨の極みです。

戦後の新宮木材界の復興混乱の中、昭和三十年前後から原木移送が徐々に流筏からトラックによる陸送に様変わり。水上貯木場から陸上貯木場へと移行され原木売買が市場の競(セリ)販売へと大きく転換、木材会館建設と相俟って新宮木材協同組合、新宮原木市場の基盤が形成されたのである。瀬古理事長はこの事業改革変遷のリーダーとして手腕を發揮されたのである。

瀬古大先輩は資性、深慮遠謀、幼時より艱難(かんなん)をなめられたと聞かされておりますが、その度量と才能とを錬成され、

昭和五十年衆望を担って市長当選。市の発展と市民生活の向上に至情を傾け、特に学校教育充実に尽瘁(じんすい)貢献せられました。

昭和五二年四月十六日天皇、皇后両陛下奉迎する光榮に浴し、熊野木まつり会場で熊野優良材の展示品の天覧を仰いだ。瀬古市長が説明申し上げ興味深くご覧になった(上記写真)新宮への行幸啓は瀬古市長の人望と関係者の協力の賜物であり、木協史に残る大変誇らしいことであった。

私自身大先輩を偲ぶとき、新熊野体験研修センター部分竣工式に於いて出席の途中道路から荷物を下ろす滑車付きのワイヤロープが備え付けている。先を歩いていた瀬古市長咄嗟に滑車のロープにぶら下がる。そばの秘

書課長危ない危ないと悲鳴声、意に介せずぶら下って滑り降り、降り立つと「下りてこい下りてこい」のいつものポーズと高揚の笑顔に瀬古潔市長の無垢の姿、無垢の人柄の奥深さに触れた思いだ。外の者は遠回りで追い付くという光景が目には浮かぶ。

また、昭和五七年王子小学校落成式落成記念親子祭りに於ても瀬古市長に臨席をいただき親子祭りのリラックスした中で挨拶で市長の学校施設の充実や学校教育への熱心に取り組んでいる話をさせていただき地区住民や父母子供達のお礼や感謝の言葉がよほど嬉しかったのか私の肩を抱え、「今度はあの残された山やねえ」と言われた言葉が十年後に体育館の建設を見ることが出来た。市

長の慧眼(けいがん)さすがだなあと思った。

瀬古潔さんは木材界でハットキャップのよく似合う稀有な方であった。お会いすると手早く帽子をとり、温情あふるる笑顔で声をかけられ私がいともどぎまぎ恐縮させられました。木協恒例の末社詣りには瀬古顧問、速玉大社へ誰よりも早く来て参列者一人一人の手を握って新年の挨拶で迎える。あの温もりの手には顧問の心情、何を込められていたのでしょうか。木協の団結を託すメッセージではなからうか。

瀬古顧問の誠実を傾けつくされた数々の業績は、新宮木材協同組合の進展と共に末長く称えられることでしょう。

安らかに眠り下さい。

蓬萊・王子小統合校
大規模改修工事

蓬萊小学校と王子小学校が統合して、現在の王子小学校の場所に新しく王子ヶ浜小学校が完成しました。元王子小学校を耐震補強した上で大幅に改修され内部には地元の熊野材がふんだんに使用されております。組合員協力の下、昨年三月から搬入が始まり、この度完納することができました。



新宮鐵道開業一〇〇周年
記念協賛行事

平成二五年三月二日(土)、新宮鐵道が大正二年(一九一三年)に新宮―勝浦間が正式開業してから一〇〇周年を迎えたことから各種記念イベントが開催される中で当組合と(株)新宮原木市場では開業当時の発起人の中心が木材業者であり、且つ鐵道敷設の目的が木材の勝浦港への運搬が中心であったこともあり、記念イベントを盛り上げるために次の通り協賛行事を行ない夫々大盛況にて市民の方に楽しんで頂きました。

尚、本行事に先立ち『新宮鐵道と木材業』と題して二月七日に木材会館に於いて熊野の鐵道一〇〇

周年を祝い未来を考える実行委員会の中瀬古友夫先生をお迎えして講演会を開催し出席者の皆さんは大変興味深く勉強致しました。

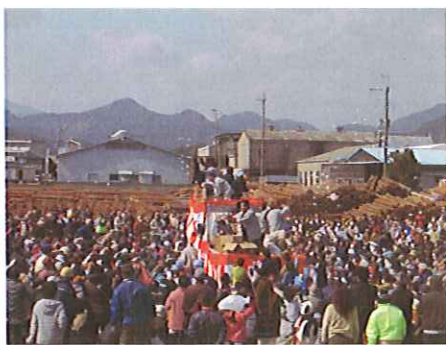
＜協賛行事の内容＞

- ①新宮鐵道開業一〇〇周年記念市
約一万本
- 一三九〇㎡
- 二二四四万円
- ②餅まき及び菓子まき
約一万个の餅と子供向けに菓子まき
- ③観光筏展示及びDVD上映
- 北山村の観光筏の展示説明及び筏のDVD上映
- ④新宮鐵道・木材関連資

料展示

昔の写真や山林道具の展示

- ⑤パーク堆肥の販売通常四百円で販売のパーク堆肥を一〇〇周年を記念して百円で販売
- ⑥桧チップの無料配布
桧の香り漂う桧チップの無料配布
- ⑦NHK和歌山主催のDVD上映
和歌山今昔『木材のまち・新宮市』DVD上映



林業・木材製造業労働災害
防止協会
和歌山県支部新宮分会

林業並びに木材製造業に於ける労働者の安全及び衛生並びに労働災害防止を図ることを目的に昭和五六年一月に設立した本分会の第三三回通常総会を平成二五年七月四日(木)出席者 二名(委任状も含む)が参加して開催しました。当日は新宮労働基準監督署の坂上署長、小林課長にご出席を頂き滞りなく総会を終了致しました。又、総会終了後は小林課長により労働災害発生状況、本年度の防災計画、当業界の発生事例等についての説明し、さらなる防災意識への向上を促しました。

木材利用ポイント事業

地域材の適切な利用を

確保することは、我が国における森林の適正な整備・保全、地球温暖化防止及び循環型社会の形成に貢献し、農山漁村地域の振興に大きく資するものです。

このため、林野庁は、地域材の利用に対して、木材利用ポイントを付与し、地域の農林水産物等との交換を行う木材利用ポイント事業を措置しました。地域の木材を活用した場合に、木材利用ポイントが発行され、そのポイントで地域の農林水産物等と交換できる制度

です。

ポイント発行対象について

地域材を基準以上使用することなどの条件を満たすものが対象となります。

ポイント発行対象は、木材利用ポイント事務局に登録された事業者が工事または製造する次のものです。

- 1 木造住宅の新築・増築または購入
- 平成二五年四月一日から平成二六年三月三十一日に工事に着手したもの
- 2 内装・外装木質化工事(床・内壁及び外壁)
- 平成二五年四月一日から平成二六年三月三十一日に工事に着手したもの
- 3 木材製品・木質ペレットストーブなどの購入
- 平成二五年七月一日か

ら平成二六年三月三十一日

までに購入されたもの

発行されるポイントについて

各ポイント付与数は次のとおりです。

- 1 木造住宅
- 1棟あたり三〇万ポイント
- 2 住宅の内装及び外装木質化
- 内装及び外装木質化工事の合計三〇万ポイントを上限
- 3 木材製品・木質ペレットストーブなどの購入
- 製品の価格帯ごとに、その下限の価格の一〇%相当のポイントを付与
- 1製品あたり一〇万ポイントを上限

ポイントの交換対象について

ポイントの交換対象と

なる商品は次のとおりです。

- 地域の農林水産品など
- 農山漁村地域における体験型旅行
- 商品券
- ・全国商品券・プリペイドカード(農林水産品関連商品券を除き、森林づくり・木づかい活動に対する寄付を行うものに限る)・地域商品券
- 森林づくり・木づかい活動に対する寄付
- 特定被災地域に対する寄付

と)

※全国商品券・プリペイドカードへの交換及び即時交換を行う場合は、付与された木材利用ポイントの五〇%が上限となります。

※交換するポイント数は、一ポイント一円相当です。

ポイントの申請方法について

ポイントの発行申請は工事発注者及び住宅購入者(代理人可)が、申請書に必要事項を記入し証明書類などとあわせて郵送または各地に設けられる申請窓口(当組合も申請窓口となっております)にて行います。

その木、木材利用ポイント実施中
ポイントの木?

新宮原木買方組合

第八一回定時総会

原木の新宮地区集荷を助長し、紀南木材業の発展に寄与することを目的に結成された本組合(組合員数 二一名)の第八一回定時総会を開催しました。組合長 速水 渉氏が議長を執り行い、総会は滞りなく終了致しました。

記

平成二四年六月三日(月)

出席者 一六名

(本人出席 一三名)

委任状出席 三名)

巴チップ協同組合

第十四回通常総会と概況

第十四回通常総会が平成二五年五月二五日に開催され提出議案がすべて原案通り可決承認されました。

二四年度の当地区木材業界は水害復旧需要も一時的には多少ありましたが、全般的には依然として厳しい状況であったかと思われます。

このような環境の中、チップ販売事業も同様で二四年度集荷実績は前年比マイナス一・七%、ピク時の一七年比ではマイナス三二・五%と大き

く落ち込んだままとなっています。

販売面では価格について

では、販売主力の製紙工場納材分で十月より六〇〇円の値下がありました。

量的には主力の製紙業界では製品の販売不振により前期に続き生産調整

が続いており過剰在庫が

解消されず集荷抑制は続いていたものの何とか生産量は販売することが出来ました。

又、今総会では当地域の製材副製品の集荷販売を一本化することでより効率的に運営出来るものと判断し、チップ事業を

下期十月一日よりタオ熊野協同組合へ移管するこ

ととしそれに伴い当組合を今期中に解散することに決まりました。

最近の市況につきまし

では、販売先主力の製紙業界は、為替の円安による原燃料の輸入価格が高騰し採算性が厳しくなっ

ていることに加え製品販売が不振で経営状況が厳しくなっており、経費節

減の為、国内チップ価格

の値下げが検討されている状況にあります。

従来なら輸入チップ価格に連動して国内チップ

価格も値上げされてもいはずが操短による過剰在庫で集荷抑制が続いており価格が下げやすい環境にあり経費節減の為に

も実施される可能性が高くなっています。

量的には、出荷抑制基

調が続いているものの六月時点では何とか出荷出来ていますが、製紙各社

が定期修理の時期に入り例年一週間程度の操業停止が今年

は生産調整による操業停止も加わり納材

先大手の王子・春日井工場では二五日間の操業停止となり、九日間のチップ受入停止があるなど厳

しい状況が続きそうです。

このように国内生産チップの販売は量、価格とも厳しくなることが予想されます。

(参事 田組 正雄)

二〇一三年度新役員

今年度の新緑会の新役員及び会員は次の通りです。

会長	瀬古伸一郎
副会長	竹中 俊介
会計	速水 祥久
書記	玉置 和夫
監査	川崎 康弘
木工展委員長	湊 一郎
木工展副委員長	三島 彬
木工展会計	速水 洋平
出張木工教室	板谷 貴史
企画委員長	江崎 大晃
企画委員	久保太嘉志
相談役	青木 優朋
	野地 伸卓
	瀧岡 俊太

会員名簿

氏名	勤務先
瀧岡 俊太	(有)瀧岡木材
川崎 康弘	(資)川崎商店
速水 祥久	速民製材
江崎 大晃	江崎製材
玉置 和夫	熊野川町森組合
板谷 貴史	板美商店
瀬古伸一郎	榑山一本店
湊 一郎	角新木材(株)
久保太嘉志	(有)池田製材所
竹中 俊介	竹中幸生商店
濱口 輝久	晃栄林業(株)
速水 洋平	新宮木協同組合
青木 優朋	青木木材(資)
野地 伸卓	野地木材工業(株)
三島 彬	(株)三島

正会員 十五名

(賛助会員は十四名です)

日本木材青壮年団体連合会

第五八回全国会員 岩手大会

平成二五年六月一日(土)、今回の全国大会は遠方の岩手ということもあり午前三時に新宮を出発しました。今年、新会員となった三島彬君、又、前回に続き久保晴彦商店の久保雅稔君にも参加頂きました。

昼前に盛岡に到着した我々は名物のわんこそばを食し、味はもちろんのこと、雰囲気は大いに満喫しました。午後からは大会に参加し、全国児童生徒木工工作コンクールの優秀作品を見学、今年は大地小学校の土山 鎌君の作品『ナガスクジラ』が日本木材青壮年団体連合会会長賞を受賞致しました。総合文化センターに夕刻到着、大懇親会のイベントにて当会員の速

水洋平君がわんこそばに参加し、一日に二度わんこそばに挑戦するというサプライズがありました。二位という優秀な成績を収めました。

続く二日は、早朝より陸前高田を目指し、ガイドの方の説明を聞きながら当時の惨状やどのような行動をした人が助かり、又助からなかったのか、どこまでの高さの津波に襲われたのか詳細に説明を受けながら、テレビの画面だけでは伝わらないものを目の当たりにした。我々は誰もがもう一度防災意識を新たにしました。今回の大会によって多くの会員と今まで以上に深いお付き合いができたこ

とはもちろん、被災地研修によって防災意識を皆が深くもつようになったと思います。今後も業界の為、自分たちの地域の為に精進したいと思ひます。

(瀬古伸一郎)

参加者(写真右から)
瀧岡 俊太・三島 彬・野地 伸卓・瀬古伸一郎・久保 雅稔・速水洋平・江崎 大晃・糸川 貴祥(撮影)



岩手県陸前高田市被災地視察

六月二日、午前より新緑会員七名と共に陸前高田市にて被災地視察を行いました。盛岡から自動車での移動でしたが、道中は新しい道路などが完成しており本当に被災地なのかという思いでした。しかし、陸前高田直前になりプレハブによる建物に風景が一変し、被災地になると草花と重機のみのもいない世界でした。

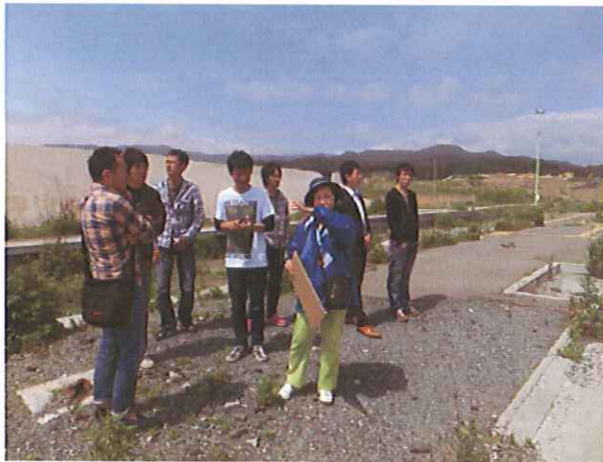


陸前高田市内

市役所の仮庁舎にて、陸前高田観光ガイドの菅野コハルさんと合流し約一時間駅跡、役所跡、道の駅等を順次視察しました。



陸前高田駅跡



菅野コハルさんによる被災状況説明

菅野さんから当時の状況やどのようにして助かったのかを被災当時の記憶と経験から説明していただき、知識やテレビだけでは分からない悲惨さ、防災意識を新たにしました。新緑会員も菅野さんの話に耳を傾け、時に質問しながら各被災地を視察して回りました。帰りの道中でも、新宮でもし津波が起こった時のシミュレーションや避難方法などを話し合い、とても貴重な体験をすることができました。

(事務局 糸川)



陸前高田市全景

桜井木材協同組合青年

経営者協議会との交流会

この度、紀南木材新緑会と桜井木材協同組合青年経営者協議会(以下・桜井木青協)との間でお互いの親睦を含める意味で夫々の地域の原木市場や製材所等を視察し意見交換を行なう交流会が行なわれました。

五月十八日には、当地域にて原木記念市、夕才熊野、製材所、プレカット工場を見学した後、木材会館二階にて意見交換会が行なわれました。熱心な意見交換が終了してからは場所を変えて親睦を深めました。

又、六月二十九日には、今度は我々新緑会が桜井にて金幸木工所様をはじめ

め、いくつかの製材所を見学しました。杉が主力である当紀南地方とは違い、奈良の特産物でもある桧の量、そして良材に目を奪われました。製材所見学が終了した後は、

桜井木青協の会員の実家である焼肉屋で盛大な懇親会を開いていただき互いの親睦を深めました。これを一過性のもににするのではなく、お互いが行き来することで、新たな知識や製材技術の向上に努め、今後の業界や自分の仕事に於ける糧にしていきたいと思います。

新緑会員紹介



(株) 三島 ^{あきら} 三島 彬 さん

生年月日：1987年(昭和62年)1月9日
住所：紀宝町鮎田
年齢：26歳
血液型：A型
趣味：剣道

ひとこと：昨年5月より製材業に就きまして1年が経ちました。まだまだ仕事もこの木材業界のこともわからないことだらけですが少しでも木材業界活性化の力になれるよう頑張っていきたいと思っておりますので皆様よろしくお願い致します。



木工教室

夏休み恒例の親子木工教室を今年も七月二一日(日)に行いました。当日朝早くから会員の皆さんと準備しました。今回は「飾り棚」と「スライド式本立て」の二点を用意させて頂きました。今回は、例年をはるかに超える参加者で、今年はじめて作る「飾り棚」に人気が集まりました。無事終了することができ、会員の皆様、お疲れ様でした。(速水 洋平)



「本の紹介」

カウンタダウン・

メルトダウン

(ブローグ・二〇一一年
三月十一日十四時四六分)

船橋 洋一 著

◇三月十一日午後四時三六分、東電福島第一原子力発電所の吉田昌郎(まさお)所長は、「非常用炉心(ろしん)冷却装置注水不能」の状態に立ち至ったと判断。「原子力緊急事態」を経済産業省に通報する。まもなく一号機、二号機、三号機が競うように、並行連鎖的にメルトダウンに向った。それは・チェルノブイリ事故に匹敵するレベル七の過酷事故となった。放射線放出量はそれをはるかに上回る史上最大の原発事故である。避難区域指定は、福島県内の十二市町村に広がり、避難民は約一六万人及んだ。第二次世界大戦後、日本最大の危機がはじまった。

◇メルトダウンとは炉心の冷却が出来ない為に燃料棒が溶けるシビア・アクシデント(過酷事故)を指す。そのまま放置すれば、圧力容器のコンクリート床まで溶かし、大量の放射性物質を放出する深刻な事態に陥る危険性は極めて高い。

◇著者(元朝日新聞論説主筆)は政府や原子力ムラから独立した「民間事故調」を立ち上げ、被災地・官邸・米軍・ホワイトハウスと多くの福島原発事故当事者から聞き取り調査を行う。取材の過程で、この書の執筆動機となったといわれる当時の菅政権が密かにつくっていた「最悪のシナリオ」の文書を手にする。

◇「最悪のシナリオ」とは核燃料プールで起りえる事態を想定したもので、燃料棒がコンクリートに直接反応してしまつて、ものすごい勢いで放射能が噴出する。その結果、東日本、東京まで放射能が拡散するという危険な状態をいう。

◇本書は卓越したノンフィクション作品(大宅賞授賞)ですが、事象の性質上、専門用語も多く難解な部分もあります。上・下巻二一章すべてに二行ずつ簡明なわかりやすい解説がついていてメルトダウンの軌跡をカウンタダウンしています。

◇三月十一日から十五日までメルトダウンが進むなか「最悪の現実」を目の前にして小さな安心を安売りした結果、大きな安全を犠牲にしたとされる原子力安全神話はもろくも崩れてゆく。この時期原発に関係する要路にいた個人、政府、米国はどのように動いたのか。

・個人/前述の現場責任者吉田は三月十一日以降事態の推移を逐次報告。十四日午後、恐るべき事態となった原因不明の注水不能に依るメルトダウン進行を通報

・組織/この時期政府、外務省、経済産業省、防衛省(自衛隊)等関係各省庁、警察、消防そして東電を含め想定外の大事変にさらされた組織は有機的な連係が出来ず、菅首相(当時)を始め官邸は喧騒中のいわばカオス状態であつたことがうかがえます。三月十四日夜十一時枝野官房長官(当時)とルース駐日大使が電話口で怒鳴り合う。この場面は国家の威信と双方の面子をかけた日米関係が最も緊張した局面であつたという。

・アメリカ/日本の意志の主体と在処が見えない。それに伴いインテリジェンス(情報)があがつてこないという苛立ちの中、それでも同盟国米国は世界最高の技術を駆使して救援活動にあ

たつてくれる。そうした中、三月一日横須賀基地の放射線量が急上昇。在日アメリカ人、はては駐日米軍の撤退問題も現実味を帯びてくる。(同盟と自国民の安全を秤にかければアメリカ政府の責任と役割は自国民の保護に向かうのは自明の理)米国がギリギリの難問に苦慮する中、矛先は日本に向けられる。「日本はほんとうに自国民を守る気概があるのか」という問いを突きつけられる。或る陸上自衛隊の将校曰く「自分がまず最初にリスクを負ってやらないと、同盟の相手国は決してやってくれない。自らを助けることの出来ない国は助けない」と。同盟国は助けてはくれるが運命は共にしてはくれない。ドゴール。

◇いろいろな危機的経緯をふまえて三月十五日対策統合本部がようやく立ち上る。

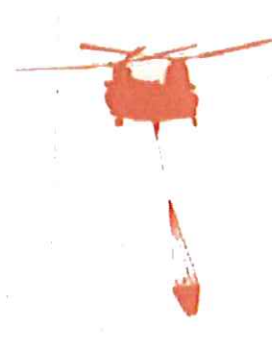
◇二人の現場責任者
・吉田昌郎(東電福島第一原発所長)

部下達は決死的覚悟を要する状態の中でも彼を心服し、彼の姿を見ながら仕事をしている。親分肌で、ある意味西郷隆盛的リーダー。

・増田尚宏(東電福島第二原発所長)
第一と同じく全電源損失に陥った第二原発のメルトダウンを未

然に食い止める。自分の持ち場(孤星(こぼい)を守るべく時には第一原発の要請をも拒絶する。「増田の強さはチーム力だ。危機管理ということになると増田に軍配が上がる」と。米国サイド支援部長・チャールズカストローはいう。しかし、著者は二人とも優れた現場リーダーだといふ。「第一は吉田がいたからあの程度済み。第二は増田だったからあそこで助かった。しかし彼らのトップ(司令部)は戦時プラン(戦略)がなかった。と。◇「始まりの終わりなのか、それとも終わりの始まりなのか」(W・チャール)原発問題は未だその先が見えない。
◇著者はあとがきでこのように述べています。リスクとは何か。リーダーシップとは何か。国家とは何か。福島第一原発危機は究極のところ、日本の「国の形」と日本の「戦後の形」を問うたのである。…と。

◇二〇一三年七月九日、吉田昌郎・元所長が逝去されたとの報に接しました。謹んでご冥福をお祈りいたします。
(総務委員 瀬古 稔)



m³単価 () は平成24年度

樹種	形状	平成25年			備考	
		5月	6月	7月	長さ(m)	径(cm)
杉	4m 小丸太材	4,300 (4,400)	4,400 (4,300)	4,600 (4,400)	4	6~13
	3m 14~20	7,900 (7,400)	7,100 (7,300)	7,200 (7,500)	3	14~20
	3m 22cm 上材	9,600 (10,300)	9,000 (10,200)	10,500 (10,100)	3	22~
	4m 14~22	7,200 (7,000)	7,000 (6,500)	7,700 (7,600)	4	14~22
	4m 24cm 上材	12,000 (10,500)	12,900 (9,400)	12,200 (11,100)	4	24~
檜	4m 小丸太材	4,500 (3,800)	4,700 (4,500)	4,700 (4,400)	4	6~13
	3m 14~20	8,500 (7,700)	7,900 (8,100)	8,300 (7,000)	3	14~20
	3m 22cm 上材	10,600 (11,000)	10,000 (12,200)	12,500 (8,500)	3	22~
	4m 14~22	8,400 (7,400)	8,800 (7,900)	8,900 (8,100)	4	14~22
	4m 24cm 上材	14,300 (16,600)	12,100 (11,400)	15,800 (14,000)	4	24~
杉総平均単価		10,500 (9,600)	10,900 (7,700)	9,600 (9,400)		
檜総平均単価		10,500 (10,100)	8,700 (10,500)	9,600 (10,400)		
総平均単価		10,600 (9,800)	10,300 (8,300)	9,600 (9,700)		

◆◆◆原木市場平均単価◆◆◆

事務局長月一回土曜
 休業日のご案内(予定)
 (八月~十二月)
 八月二十四日(土)
 九月二十八日(土)
 十月二十六日(土)
 十一月十六日(土)
 十二月二日(土)

事務局お盆休みの

お知らせ

八月十三日(火)
 ~八月十八日(日)



新入社員紹介

(株)新宮原木市場

ほり ちひろ
堀 千尋 さん

生年月日/1970年(昭和45年)

8月4日生

住所/那智勝浦町、年齢/42才

星座/しし座、血液型/O型

趣味/料理、特技/なし

ひとこと/ 仕事を通じて成長していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(株)新宮原木市場

しみず もりまさ
清水 盛正 さん

生年月日/1969年(昭和44年)

12月10日生

住所/新宮市、年齢/43才

星座/いて座、血液型/O型

趣味/晩酌、特技/スポーツ

ひとこと/ 今までの経験を生かし、責任を持って仕事をしたいと思ひます。

末社詣り

組合恒例の末社詣り行事を旧暦の元旦にあたる 2 月 10 日 (日) に行ないました。晴天の下、参加した人は神社にて頭をたれ業界の隆昌と安泰を祈願いたしました。各神社を参拝後はかわみにて伝統の「どじょう汁」に舌つづみをうち、正月らしい賑わいで旧元日をお祝い致しました。

(速玉大社—牛ノ鼻神社—中村神社—烏止野神社—阿須賀神社—神倉神社 (遥拝)—王子神社 (遥拝))

神倉神社と王子神社は速玉大社のまじり攝社 (本社と末社の間に位置する神社) である阿須賀神社より遥拝



◆八月六日(火)
盛夏特別記念市

豊富な優良材を取り揃え、お待ちしております。

◆九月二一日(土)～二二日(日)

第三五回

児童生徒木工工作

コンクール

◆十月十五日(火)

第五四回木霊塔

建立供養式

献木者 森谷 功氏

編集後記

◇本号の表紙は今年四月から蓬萊小学校と王子小学校が統合して新しくスタートした王子ヶ浜小学校の校舎を紹介しました。熊野材に囲まれて子供達が健康で元氣良く育ってくれることを願っております。

◇熊野川河口大橋の建設が現実的になってきました。防災面、地域活性化のために期待されており、期間十年での完成が目標になっております。急ピッチでの工事が予定されており今後の推移を注視して行きたいと思えます。

◇“ポストンマラソン爆破テロ事件”「このマラソンを狙った“悲劇”は肉体的にも精神的にも多くの人が傷ついた。

ポストンマラソンは他の走者やボランティアの応援とサポートから成り立っている市民の誇りの源だ。私も六回走ったこのマラソンに一番愛着がある。(私は毎日走り続けることを通し、傷つき、命を失った人たちを悼む)「作家村上春樹さんが米紙に寄稿して。『一〇〇キロマラソン (十五年連続) や “天空マラソン” (走る文化) の継続を願う一市民として』

◇山中さん、木協顧問に対する懐旧の情溢れる心温まる逸話をありがとうございます。深く感謝申し上げます。

◇“何事のおはしますかはしらねどもかたじけなさに涙こぼるる”西行 (伊勢神宮を詠んだ歌) 同神社は今年式年

遷宮二十年を迎えました。

◇“遊びをせんとや生まれけむ戯れせんとや生れけん遊ぶ子供の声聞けば我が身さえこそゆるかるれ” (梁塵秘抄【三五九番】) かつて来新された京都大学鎌田東二先生が唱えた「翁童論」(お年寄りと幼子を敬うという思想) に共感しながら

◇“帰り来るを立ちて待てるに 季(とき)のなく 岸とふ文字を歳時記に見ず” (皇后陛下 下美智子さま) 東日本大震災で失われた人々を、四季を問わず待ち続けねばならない岸に「立ちて待つ」人々に思いをいたしておられる御歌。平成二四年の新年の歌会始。御題「岸」より